

令和2年度 みどり「ひと・まち」スクール実施記録

第6講 修了式、夢プラン発表会

講師及び担当：名和田学長、山路コーディネーター、岡部、森

日時：令和2年11月14日（土） 場所：緑区市民活動支援センター（みどりーむ）
参加者：6期生（7）、名和田学長、コーディネーター、緑区社会福祉協議会（2）ナビゲーター（5）、サブナビゲーター（3）、緑区長、事務局（3）合計:23人
Zoom参加：10人（修了生）

●修了式

令和2年度のスクール総まとめとして、修了証書、皆勤賞、受講証明書を6期生へ手渡した。

6期生代表は答辞の中で「子育てをしている最中であるが今後は自分が何か地域で役立つことができなにかを考えていた。そんなときにスクールの存在を知り受講した。学びを進めていく中で「世代を超え、ゆるやかにつながれる場」を作りたいと感じた。スクールを運営するみなさんからのアドバイスをもらううちに「ひと・まち」スクール自体が私にとっての「世代を超えてつながる場」であることに気づいた。ひとりでは難しいことでも協力者がいることで前に進める想いを深くした。」と結んだ。

●夢プラン発表会

出席した6期生7人による「夢プラン」の発表があり、学長から講評をもらった。

- ・一人暮らしの方の穏やかな見守り
- ・おむすび食堂
- ・中山駅北口駅前イメージアップ大作戦
- ・HeartWarming コミュニティを設立
- ・大きな〇〇の木の下で ホットー息つきませんか。
- ・働くママたちが世代をこえて地域の人とつながることができる居場所づくり
- ・インド人女性のためのワーキングスペース、個人起業支援スペースを作る

名和田学長より

自治会活動がコロナの打撃を受けているこういう状況下でも、なんとか工夫をして頑張っている。地域の繋がりが出来ず孤立している人が出ている。みどり「ひと・まち」スクールの修了生も前を向いて進んでほしい。

6期生のアンケートより（抜粋）



- 今年度はコロナ禍でもあり、企画の大変さを感じました。受講にあたっては細心の注意で準備していただいたこと、Zoomの活用もタイムリーだった。また、Zoomからのコメント反映していただき「つながり」を感じた。
- 開講式から最後までありがとうございました。私も諸先輩のようにアクティブに活動できる日がくると信じています。
- 発表に対して、コーディネーター、ナビゲーター、サブナビゲーターのみなさんからのアドバイスが丁寧で、ありがたかった。スクールで初めて学び、プラン作りの重要性を感じた。「学びのふりかえり」に対する返信コメントをもらったことが最後まで参加できた要因のひとつとなった。
- 今年度は受講時間が短くなったが、ナビゲーター、サブナビゲーターの紹介がほしかった。
- 充実したカリキュラムであったこと、サポート体制がとても素晴らしく温かい雰囲気があり、頑張ることができた。



修了式を記念して



夢プラン発表会



修了生とZoomで交流

コメント欄（担当ナビゲーター：岡部）

- 修了式では、居場所づくりや繋がりに関するテーマなど素晴らしい夢プランが発表されました。今後は、勇気を持って実行し、夢プランの成果に期待します。
- 今年度は新型コロナウイルス感染症対策として受講生の安全を第一に開講しました。みどり一むに來ることができない修了生へはZoom配信を行い、参加してもらいました。受講時間の短縮、懇親会、交流会の中止を余儀なくされましたが、修了式では、6期生の横のつながりが生まれうれしく思いました。